
I S <インフィニット・ストラトス> 天空への翼

空

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

IS<インフィニット・ストラトス>天空への翼

【Nコード】

N7704R

【作者名】

空

【あらすじ】

IS学園に転校生！？

一夏と箒の幼馴染がやってきた！
いろいろやらかしてくれますww
まさかのハーレム落ち？

まさかのキャラ崩壊ww(前書き)

今までで一番長くなったww

IS最高!!

まさかのキャラ崩壊ww

『な〜う、な〜う』

ちわっす！僕の名前は蒼羽校空あおはなだよ！

今ね〜なんとIS学園に行ってるんだ〜。え？どうしてって、そりや〜転校するからっしょww

それぐらい自分で考えなよ〜・・・まあいいとして今迷ってるんだよね現在進行形でww

やっちゃった〜みたいなの？ともあれ、約束の時間だからそろそろ来る筈なんだけどな〜

「すまない、待たせたか？」

噂をすればなんとやらだっけ？来た来た
いや〜寂しかったww

『な〜う、全然まってないよ〜？千冬姉？』

「お前って奴は！本当に可愛いなっっ！！」

びつくりした？まさかあの織斑千冬がこんなにデレるとか思わなかったでしょ？

ふふふ、これは僕だけの特権！名づけて「姉デフォルト発生！！」
・・・ネーミングセンスなさすぎるね〜ww

『千冬姉〜早く行こうよ〜』

「す、済まない。お前を見ると何故か抱きしめたくなるのだ」

なんて母性本能wwまあ？僕としては嬉しい限りなんだけど？
はっはっは羨ましいだろう？

なんというキャラ崩壊wwま、いつか
で校舎に向かってまゝす

『で？で？一夏はどうなってんの？』

「あいつか？昨日転入したんだがあの阿呆はまったく・・・」

『あはは、一夏らしいね』

詳しく話を聞くと自己紹介からへびったとかww
ウケるゝ、ウケないけどww

『そつえば僕って千冬姉のクラス？』

「ああ、そうだ。いくら親しくとも、ビシビシいくからな。」

『わゝお。お手柔らかに』

あれか、出席簿とかで殴られたりするのかな？

それはそれで楽しいけどww

一夏とか既にやられてそうだなゝ

ゝ教室の外ゝ

え？いきなり飛び過ぎ？気にしない気にしない
そんなに気にしていると禿げるよww

「よし、桜空。私が呼んだら入ってこい」

『あいよ〜』

「はいと答える。蒼羽」

『・・・・・・はい』

まさかの姉呼び却下？マジか〜
まあ？僕は？別にいいけど？

キヤー キヤー

わお！人気あるね〜千冬姉。まあ見た目最高だし？
中身知ったらシヨク受けるだろうな〜w w

「静かにしろ。今日は新しい転校生が来る。おい、入って来い」

おお！ピタツと静かになったw w
凄いな〜てか静かになりすぎw w

シュツ

『初めまして。今日から一緒に勉強させてもらいます、蒼羽桜空です』

「「「「「「・・・・・・カッコイイイイイイイイ！・・・・！」」」」」」

わお！これまたビックリしたあ〜

「小っさ！軽すぎ！！」

「ちっ、惜しかったのに」

こえーよ！何舌打ちしてんの！？
どうなってんのこのクラスは！

「好きな人は？」

『いないよ、だから絶賛フリー』

「嘘だ〜可愛いのに！」

「いいこと聞いた！！」

何が！？だからどうしたのこのクラス！
さっきからおかしいよ

「好きなものと嫌いなものは？」

『好きなのはお菓子とか甘いもの、嫌いなのは苦いもの・野菜類全般』

「可愛い！！」

「よし、餌付けをするか」

だから最後の人どうしたの！？
さっきから物騒な事しか言っていないよ！

「よし、そろそろ最後にしろ」

「はい！専用機は？」

『持つてるよ？』

「「「「「キヤアアアアアアアア！素敵いいいい！！！！！！」」」」」

駄目だこのクラスww

根っから腐ってるような気がする

『な〜う、な〜う』

「「「「「可愛いいいいいいいいい」」」」」

だから落ち着けてww

さっきから本当にヤバイぞ

「はい、授業はこれで終了です。皆さん自由にどうぞ」

おお、山田先生初めて喋った！！

影薄すぎww

『一夏〜、篝〜久しぶり〜』

「「桜空！！！！」」

パーーーーン

なんで！？なんで竹刀で叩かれたの！？

感動の再会が台無しだよ!!

『い、いたい〜』

「桜空！お前一体何処に行ってたんだ!!」

『ちょ、箒〜。揺らさないで〜』

「早く答えろ!!」

『世界一周してましたww』

「・・・この大馬鹿者め!!」

パーーーン

というわけで学園にきて一日目は幼馴染の一本で気絶ということになりました。

どうしてこうなったww

じゃあ、ひとまずおやすみなさい

(ーー) < z z z

僕の説明だよ！ーちゃんと見てね？（前書き）

軽く主人公設定

名前変更しました・・・

僕の説明だよ！！ちゃんと見てね？

名前は？

僕は蒼羽桜空。^{あひはく}良い名前でしょ？ていうか、どちら様ですか？え？
天の声？ま、いいや

性別は？

女。え？男に見える？あなたはもしかしてコッチの方ですか？うつわ、ちゃんとした趣味を持って恋人を作ってくださいね。え？恋人いるの！！嘘でしょwwなんという詐欺ww

身長は？

142.8。・・・低くて悪かったね！！いいもん、これから成長期に入るんだから気にしないし？むしろ低くて良かったよ！頭とか撫でて貰えるし抱きつけるし・・・自分で言ってる悲しくなってきた・・・はい！次、次。

体重は？

確か30前半位だった気がする。最近計っていないからな～ちょっと痩せたしww
訓練が辛かったんだよ、はい、嘘だけどww

スリーサイズをどうぞ！

残念ながら計ってないんだよね。水着買うときまで待ってて？まあ言わないけどねww
てか、なんで残念がつてるんすか。

好きな物は？

お菓子とか甘いもの！いいよね。幸せになれる感じがするよね。え？しない？おつかしいな、あダジャレじゃないからね。

嫌いな物は？

野菜類全般と苦いもの。・・・ちよつと！丸つきり子供って何ですか！？え、そんな所が可愛い？あなたに言われても全然嬉しくないんですけどww

性格は？

んゝ自分では分かんないけど、よく皆からは甘えん坊とかビビリとか泣き虫って言われてるよ？そんなにビビリかな僕？

口癖とかはある？

よく『なゝう、なゝう』って言うよ。僕は猫が好きだからね。犬も

好きだよ？あとこのせいかよく猫っぽいって言われてるんだ

好きな人は？

いる訳ないじゃん。だから此処にきてパートナーを探してる・・・
つてのは嘘だけだね。まあ、彼氏なんていないしねww
第一作ったらドイツのあの人が怒るしww

専用機は？

もちろん持つてるよ？持つてなかったら学園に来ないでしょ普通。
まったく救いよつの無い馬鹿だねww

専用機の説明をどうぞ！！

えつと僕のは・・・え？駄目？あつそう。
と、いう訳で（いるかわからない）読者の皆さん！！ネタバレはN
Gだとの事なので後のお楽しみにでもおいておいて下さい！！
それじゃあ、さよ～ならww

番外

備考

髪は黒

瞳は黒と蒼のオッドアイ

髪の長さは肩より少し長い程度

そこらの人よりカツコイイが性格がアレなのでよく可愛いといわれる
一人称は僕

なぜか指定の制服にフードがついている

束と千冬を姉としてみている

僕の説明だよ！！ちゃんと見てね？（後書き）

今のところはこの位

屋上っていいよね？

「蒼羽！起きんか！！」

パーーーーーン

『………にゃう』

痛い……ってか何か忘れてるような……
……あ

ああああああああああああああ

やっぱ……！授業
……ま、いつか

『あはよーございます……！』

「あはようって何だ？」

『気にしないで一夏。噛んだだけだから』

「おお、そうか」

てかさ、一夏と千冬姉以外の皆が鼻からロマンが出てるんだけど？
これ何てカオスww

「もういい、授業をつづける。山田君、続けてくれ」

おお、山田先生やつと出番ですかww
遅すぎない？先生なのにww

「はい、えっと、皆さんも知っている通りISの正式名称はインフ
イニツストラトス。日本で開発されたマルチフォームスーツです。

（長いので省略ww）

では、ここまでで質問のある人？」

簡単すぎない？

あつ、でも一人だけ馬鹿が居たww

「織斑君。何かありますか？」

ほらきたww

「ああっ！えっと」

「質問があつたら聞いて下さいね。何せ私は先生ですから」

「先生」

「はい、織斑君」

くるな、これはww

はい、一夏の衝撃の一言まで
3、2、1、どうぞ

「全部解りません（泣）」

あっはっはっはww
やばいー夏最高だ!!

あっ、千冬姉が近づいてきた

「織斑。入学前の参考書は読んだか？」

「間違って捨てました」

パーーーーーン

「ぬああ」

「後で再発行してやるから一週間以内に覚える。いいな」

「いや、一週間であの厚さはちょっと・・・」

「やれと言っている」

「ぐっ・・・はい、やります」

何このコントwwすっごく面白いww
ヤベエこれが毎日見れるとか楽しすぎr

パーーーーーン

「お前も話を聞け」

『はい、すみません・・・』

出席簿アツクキタwwこれで起こされたとかww
僕の頭凹んでないかな？

・
・
・
・
・

ぬあゝ授業終わったゝ最高！！

「ちょっと、お二人ともよろしくて」

『にやう？』 「ああ？」

おつとびつくりして猫語がww
てかどちら様すか？

「まあ、なんですの？そのお返事（可愛いですけれど／＼／＼）
いやいやいや、貴女が話し掛けてくるからでしょ
てか顔が少し赤いけど風邪かな？」

「（お前、鈍感だな）」

『（いやいや何が？一夏の方が鈍感じゃない？）』

「（お前が一番馬鹿だよな）」

『（一夏の方が馬鹿でしょ）」』

「（いや、そういう意味じゃなくなてな）」

「ちょっと、聞いていますの？」

おお、忘れてた！！

てか、どっかで見た事あるような顔だな

「悪いな、俺君が誰だか知らないし」

「私を知らない！？セシリア・オルコットを？」

あっ！思い出した！！

セシリア・オルコットって確か

『僕は知ってるよ？』

「あら、本当ですか？なら私の事を言ってみて下さいませ」

『イギリスの代表候補生で入試主席でしょ？あと・・・』

「あと何ですか？」

『とつつつても美人で可愛い！！』

「「なつつつ！！！！」」

『ん？どうしたの？って、第！？』

「ちょっと来てくれ」

『んな。ちょ、ま、待ってよ』

えっと、何故僕は箒に引つ張られているんでしょうか？
謎過ぎて逆にびっくりするわw

- 箒side -

私の幼馴染はいろいろと鈍感だ
久しぶりに会ったのに、今だって

『とっつっても美人で可愛い!!』

何て言っている。そろそろ私の気持ちに気付いてくれたって良いと
思う

確かに私も女で桜空さくらびとも女だ。しかしこの気持ちに性別なんて関係ない。だから今からハッキリ言おうと思う。多分だかセシリア・オルコットも同じ思いだと思うし、後千冬さんだって見ていたら直ぐ分かった

そうとなれば行動に移すのみ

「ちょっと来てくれ」

桜空が騒いでいるがそんなのお構い無しに私は屋上に行く
今、二人きりになれる場所はそこしか無いからだ

『どうしたの箒？何かあった？』

やはり気付いていない。しかしもう私は決めたのだ
信念は貫き通してみせる!!

「・・・・・・・・桜空」

『なう、なに？』

「私は・・・・・・・・」

『うん、筈は？』

ふう、落ち着くんだ私
いける。今ならいけるぞ

「桜空の事が好きだ」

・・・言ってしまった!!
うわあああ／／／

「ん？僕も箒の事好きだよ？」

「本当か!？」

「うん。だって幼馴染だし友達でしょ？」

・・・どうせそんな事だろうと思っただわああああ!!!!
ああ、何ということか。私がわすれているとは!!!
こいつが天然で鈍感だったという事に!!!

『あ、箒！予鈴が鳴ったよ！！早く戻らないと！！』

まあ……

今は幼馴染でもかまわない
だがいつかは恋人になってみせる！！

- 箒side out -

屋上っていいよね？（後書き）

改変！！

やっぱりくつつけるのをやめたZE

生徒会長と会ってフラグが建って・・・（前書き）

文と文の間を一行空けてみました
おかしかったら言ってください！！

生徒会長と会ってフラグが建って・・・

にゃっはっは！IS学園生活二日目突入！！

おお！全部漢字になった！はんぱないツスww

え、部屋は何処って？それが部屋の準備忘れてたみたいで今はなんと！！！！

一夏と箒の部屋にお邪魔してますww

『一夏？箒？ご飯食べに行こ』

現在進行形でお腹が空いています

なのに二人は寝てるんだよ？

酷い、酷すぎるww

え？時間？えっと・・・時間は

3:15

さすが僕ww早く起きすぎww

仕方が無いな　散歩にでも行ってこよ

- 寮の外 -

いや　空気が綺麗で気持ち良いな

というか・・・広い!!

どんだけ金掛けてんの!?

「へ　君が噂の転入生？」

『にやうい!!』

でい y j c ぎ b d ぶつ じつ え w h d h d w : い え w h p s

・

・

・

・

・

・

すみません・・・取り乱しましたww

てか誰!?

うっ、泣きそう・・・

「あゝごめんね?びつくりさせちゃった?」

『・・・わふ(泣)』

「よしよし。泣かない、泣かない」 なでなで

『なう(喜)』

びつくりした、というよりこの人・・・綺麗だな?」

誰だろ?

「私はこのIS学園の生徒会長、更識楯無よ」

『生徒会長?』

「そうよ。学園最強なの、凄いでしょ?」

『凄いッス!!カッコイイ!!』 キラキラキラ ()

「・・・ああ!もう!!」 ギュッ

『んにゃ！？』

「可愛すぎでしょ！！もう犯罪レベルよ！！」

「（この子絶対私のモノにするしかない！！）」

無い無い無いww

僕程度が可愛かったら人類全員が可愛いよww

てか生徒会長・・・生徒会長！？

あと、目が怖いッス

拝啓、 箒へ

僕は大変凄い人と会ってしまいましたww

生徒会長と会ってフラグが建って・・・（後書き）

短すぎww

代表決定戦！？・・・最悪だあゝ（前書き）

修学旅行から帰ってきました！！
沖縄に行つて日焼けが凄い・・・
真っ黒だZE

代表決定戦！？・・・最悪だあゝ

”それじゃあ、また会いましょう”

・・・何だっただろう？よくわかんないや・
あつ、もうこんな時間

”ぐゝ”

『お腹空いたあゝ』

早く部屋に帰ろ・・・

ドアを開けるとそこには・・・何故か箒が木刀を持って立っていましたゝ

・・・なぜに！？

「桜空さくらくみ・・・こっちに來い」

いやいやいや、ここでそっちに行く人はいないっしょ！？
えゝ・・・そだ！！一夏は・・・

（スマン、俺はまだ死にたくない）

（あゝ、その気持ち分かるけど分かりたくないわゝ）

（骨は拾ってやる）

（・・・死ね）

ここまで0・8秒。アイコンタクトでここまでとは・・・
さすが本当の主人k・・・あつ禁止用語？ごめんなさい

『箒、とりあえず』

「とりあえず？」

『あゝ失礼しましたあゝ!!』

「桜空^{さくらくう}あああああ!!!!」

『どうしてこうなったあゝ!?!?』

”ガシッ”

五分も経たない内に捕まりました・・・
箒、今なら千冬姉に勝てる気がする・・・

「・・・朝どこに行っていた？」

『朝？・・・散歩してたただけだけど？』

「・・・誰と？」

『いや一人・・・（あれ？生徒会長入れたら二人？）』

「・・・だれだ！？誰と一緒にいた！？」

『あゝ・・・生徒会長と・・・』

「一つだけ聞こう」

箒から黒いオーラが見える！！

・・・危険な気がする、てか危険だ！！

「・・・顔は赤く無かったか？」

『そういえば、別れる時に赤かったよう「本当か！?!？」・・・
うん』

「（またフラグを建てたなっつつつ!!!!）」

そういえば風邪でもひいてたのかな？

何か箒が頭を抱えてるけど何かあったの・・・

まあ、いいや。お腹すいたし早く行こ・・・

『第〓早く食堂行こ』

「・・・はぁ・・・今行く」

あつ、一夏忘れてきたww
まあいいやww

- 食堂 -

『もふもふもふ・・・うまつつ!!!!』

何か皆が僕を見てるんだけど・・・
不思議だな

その頃他の生徒

(ちよっつ!!何あの萌えのかたまり!?)

(まさか、学園にこんな癒しがあるなんて!!)

(お母さん!!私を女の子に生んでくれてありがとう!!)

(・・・グハッ!!)

()()うぉーっー同士よ!まだ逝くんじゃないiiiiiiiiiiii

い！！！)

『ごちそーさまでした』

そういえば昔はご飯全然食べなかつたんだよね

三日に一回食べればいいかな？見たいな感じでww

そしたら幼馴染の鈴ちゃんに怒られて・・

よくご飯を食べさせられて今じゃ一日一回は絶対に食べるようになりましたww

ああ懐かしいな

- 教室 -

あつ、何か一夏が絡まれてるwwざまあww

キンコーンカーンコーン

「さてこれから再来週に行われるクラス対抗戦に出る代表者を決める」

へえー代表者ねえ。まあ、どうせ一夏っしょ
僕には関係ないもんねえ、ラッキ

「ちなみに選ばれた奴は一年間変更ないからそのつもりで」

うおゝ、それはつらい
自分だったら絶対やらないww

「はいっ。織斑君を推薦します！」

「私もそれが良いと思いますー」

おっ、やっぱり一夏かゝ
これで決まれば終わりっしょ

「では候補者は織斑一夏・・・他にはいないか？自薦他薦は問わないぞ」

「お、俺!？」

「織斑。席に着け、邪魔だ。さて他にはいないのか？いないなら無投票当選だぞ」

もう、それで良いと思います!!
はやく終わらせようZE

「ちょ、ちょっと待った！俺はそんなのやらな「自薦他薦は問わないと言った」・・・」

「他薦されたものに拒否権などない。選ばれた以上は覚悟をしろ」

「うつ・・・なら俺は蒼羽桜空を推薦します！！」

・・・っは！？

『ちょ、一夏！？何言ってるの！？』

「なら織斑と蒼羽で決定で良いか？」

『いやいやいや、自分は「待ってください！納得がいきませんわ」
・・・おいおいおい・・・』

セリフかぶせんなってww

・・・なんか一夏と言いつ合ってるしww
・・・

『あのさ、一々日本を馬鹿にするのやめない？』

「「え？」」

『第一、日本はISを作った篠ノ之博士が生まれたところだし、日本を馬鹿にする事は博士を馬鹿にしてるって事っしょ』

「いっついえ、そう言う意味で言った訳ではつつつ!!」

「お、おい。桜空どうした？」

止めないでよ一夏

あのね、僕

『束姉を馬鹿にするのは許せないな』

「（桜空キレてる!!）」「」

とにかく一回 O H A N A S I しないとね
だからさ、ここは

『「決闘だ! / ですわよ!」「」』

「よし、ならまずは織斑とオルコットお前らだ。その後買った奴が
蒼羽と戦う。これで良いな」

『「「はい!!」「」』

束姉を馬鹿にした事を後悔させてあげないとな
さて、ISの調整しなきゃ

いろいろとオワタ・・・・・・・・・アッーーーーー（前書き）

・・・・・・・・あれ？

夏休みは何処へ・・・・・・・・？

久しぶりに投稿（登校）したZE！！

二つの意味で（シクシクシク

いろいろとオワタ・・・・・・・・アッーーーーー

・・・・・・・・やばいな

決闘が今更ながらめんどくさくなっちゃたww
まあやってしまったものは仕方が無い・・・

ISの調整をしないと・・・・・・・・うう・・・

んつと、此処で僕のISの説明をしようか・
めちやくちゃ簡単に説明するからね

・とりあえず専用機が4つある

まあ、こんな感じかな？え、性能？

あつはつは、まあそれは筈や一夏が居るときにするとと思う・・・・・・・・多
分ww

さてと、そろそろ起動させないと怒るからさっさとしなきゃ・・・・・・・・
はあ・・・・・・・・

『IS《夜空》起動』

『IS《蒼空》起動』

『IS《茜空》起動』

『IS《星空》起動』

はづん! ! ! なんとそこには全裸の美女が! ! !

oh . . . Yes ! ! !

. . . え ?

よしよしよし、ちょっと待とうか……
おっかしいな、幻覚が……

「「桜空様さくうつお久しぶりです」」

「何、二人共畏まってんだ？」

「仕方が無いよ、二人だし」

うん……あのね、なんというか……その……
色々ダメなところが見えちゃってます……!!

最初の二人とか膝を付いてるせいでバキューンな所が見えてるよ
おおおおお!!!!

もしこんな所を一夏にでも見られたら……

一夏が見る

180度リターン

部屋に戻る

第&学園に伝わる

¥(^ ^) / オワタ

・・・あ、死亡フラグが建ったww

・・・やばい、今日が命日とか笑えないよおおお!?!?

とりあえず服を着さs「おい、桜空?ちょっと良いか?」
うわああう!!

『良くない良くない良くない!!!待つて!!!後288時間待つて!!!』

「なげえよ!!!12日も待てないからな!?!?」

『じゃあ5分で良いからちよつとタイム!!!』

タイミング良すぎ!!この野郎!!

『とりあえず四人とも服を着て!!!』

「了解しました」

「別に、裸でも『良くない!!!』・・・はあ、仕方ねえな」

「ふふ・・・桜空様は心の中では喜んで『ない！！早く着替えて！』・・・くすくす」

よし、着せた！！ふう疲れた・・・
うう・・・何で僕がこんな目に・・・

「おい、入るぞ」

『おゝ、どうぞ』

あつ、言い忘れてたけど今日から一人部屋に引っ越しました
だから一夏は入るのに挨拶をしたんだよ、分かった？

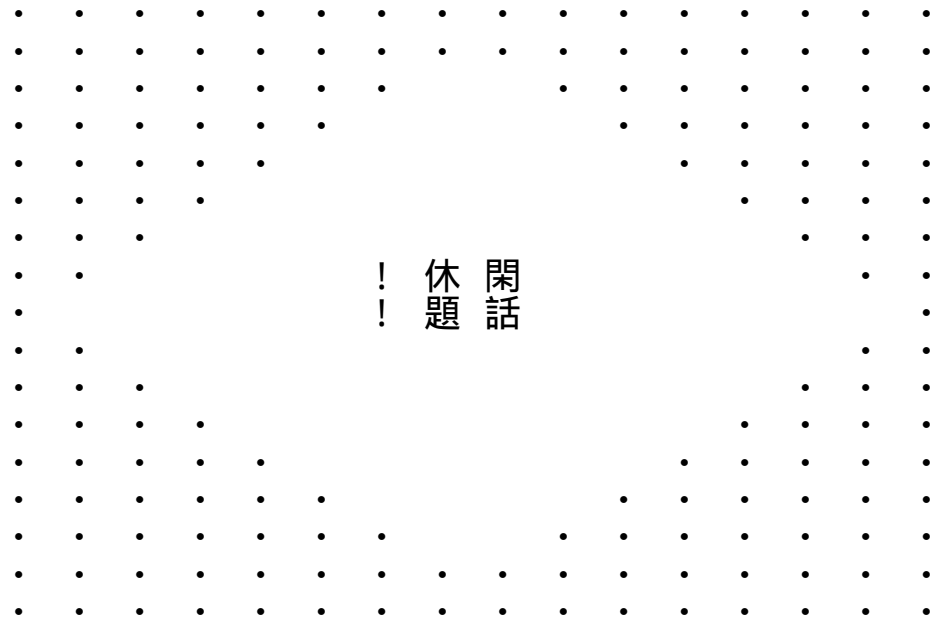
「さつきは何をして・・・は？」

『んにゃ？どうかした？』

「いやいやいや、この人達誰だよ！？」

『いやいやいや、僕の家族兼姉兼ISに決まってるよ？』

「はあああああああ！？！？！？」



といってもたった数分だけどねww
とりあえず一夏に説明（紹介）をしないと・

『・まずこの人は《夜空》名前は夜^{よる}』

「初めまして、夜と申します」

夜は黒髪美人で4人の中では次女ポジション
礼儀正しく大和撫子タイプで一番のしっかり者
戦闘では近距離タイプで速さではISの中では一番
待機状態はリストバンド

『んで、こつちが《蒼空》 名前は蒼^{そう}』

「よろしく願います」

アオは凄く綺麗な蒼色の髪で三女ポジション

真面目な優等生タイプで皆に優しい

戦闘では中距離タイプで防御では勝てるISは0
待機状態は指輪

『その後ろのショートカットが《茜空》 名前は茜^{あかね}』

「よろしく頼むぜ!!」

茜は言った通り茜色のショートカットで末っ子ポジション

男勝りでまさに姉御タイプでよく助けてくれる

戦闘では遠距離タイプで攻撃力はISの中では3位以内
待機状態はネックレス

『最後が《星空》 名前は星^{せい}』

「よろしく願います。織斑様」

星は金髪に近い黄色のセミロングで長女タイプ

皆のお母さんタイプでクールビューティー。皆を引っ張ってくれる
戦闘では全距離タイプで全てのステータスでは世界一

待機状態はブレスレット

『ま、こんな感じかな?』

「お前IS4つも持つてるのかよ・・・」

まあISっていうよりも家族だけだね
そっういえば最近お姉ちゃんに会ってないな

『まあ、とりあえず僕がセシリア・オルコットに勝つのは100%
ってことで一夏頑張って!』

「その事なだけだよ・・・」

『ん?』

なーっはっは!!これで僕は幸せに休める!!!!

「俺にISの事を教えてくれ!!」

『無理、却下、残念ww』

誰がそんな面倒くさい事をしなきゃならないの?
僕は本音ちゃんと一緒に遊ぶんだもんね

「そこを何とか!！」

『M U R I 』

「頼む!!何でもするから!!」

『残念、一夏あきらめてww』

てゆうか、千冬姉にでも教えてもらえば・・・
無理だな、うん。まだ死にたくない

『あと4人の事は黙っていてね』

「・・・じゃあ黙つとくから教えてくれ。じゃないとバラす」

んな!なんて卑怯な!!

ふつ、ならば仕方があるまい・・・

『じゃあ箒にでも頼んどくから』

「おい!・・・いや、まあいいか。仕方が無い」

なうう、なうう!

いやっほう！最高！！

あと4人は待機状態にもどってますww
超空気ww・・・ごめんなさい

あゝあ、鈴ちゃんに会いたいな

いろいろとオワタ・・・・・・・・アッーーーーー（後書き）

短いけど気にしない・・・・

あと体育祭の練習が辛い・・

ウチの色だけ朝練とかマジ鬼畜ww

あと次からあとがきコーナーをしようと思う・・・・
まあ無理だけど・・

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7704r/>

IS <インフィニット・ストラトス> 天空への翼

2011年10月7日00時31分発行